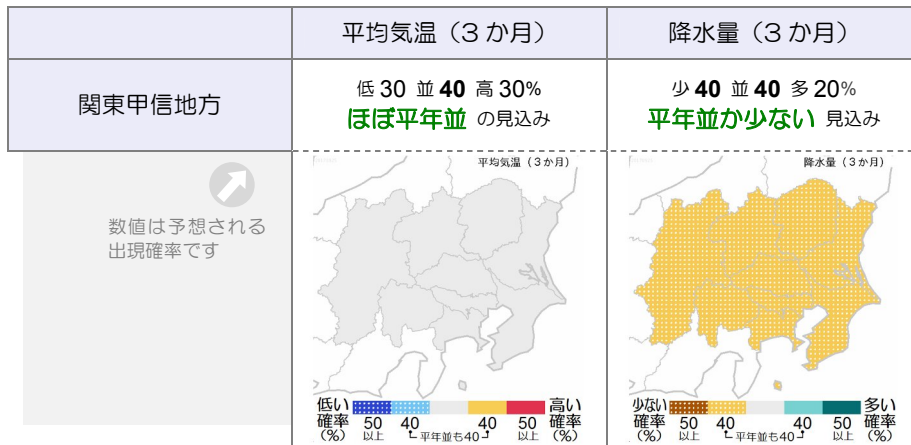


向こう3か月の天候の見通し 関東甲信地方 10月～12月

予報のポイント

- 低気圧や前線の影響を受けにくく、向こう3か月の降水量は平年並か少ないでしょう。
- 向こう3か月の気温はほぼ平年並ですが、寒気の影響を受けやすい10月の気温は平年並か低い見込みです。

3か月の平均気温・降水量

















月別の天候

10月	11月	12月
天気は数日の周期で変わりますが、移動性高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	移動性高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

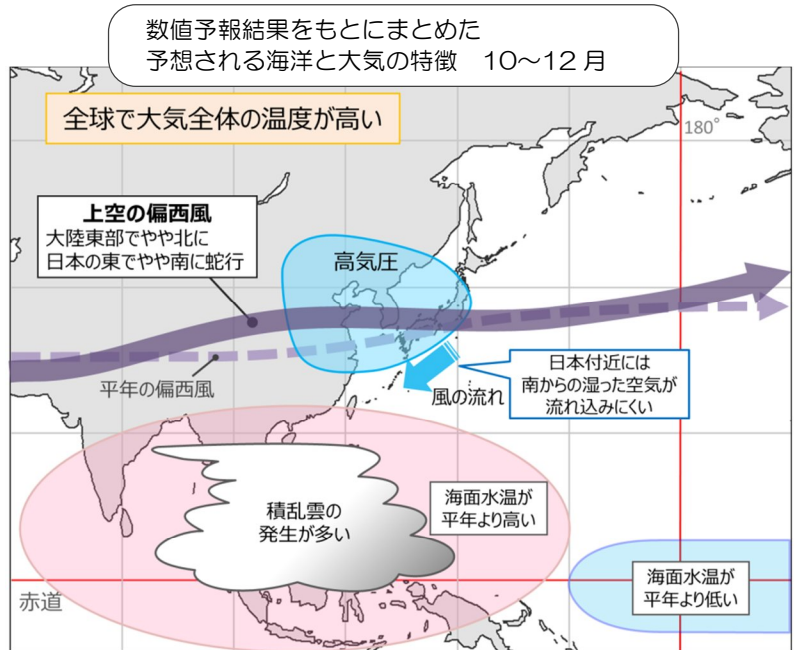
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 10月	平均気温 11月	平均気温 12月
関東甲信地方	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です	 <p>平均気温 10月</p>	 <p>平均気温 11月</p>	 <p>平均気温 12月</p>
			
	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>平年並も40%</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>平年並も40%</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>平年並も40%</p>
	降水量 10月	降水量 11月	降水量 12月
関東甲信地方	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です	 <p>降水量 10月</p>	 <p>降水量 11月</p>	 <p>降水量 12月</p>
			
	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>平年並も40%</p>	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>平年並も40%</p>	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>平年並も40%</p>

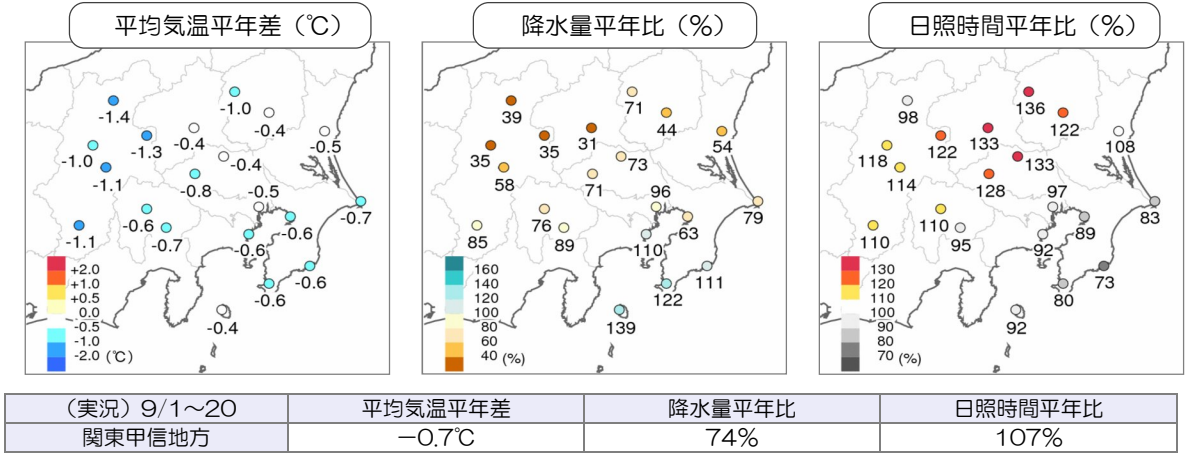
予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 海面水温は、太平洋赤道域の中～東部では低い見込みです。一方、インド洋から太平洋西部にかけては海面水温が高い見込みで、積乱雲の発生が多いでしょう。
- この影響で、上空の偏西風は大陸東部でやや北に、日本の東でやや南に蛇行するとみられます。日本付近は東谷傾向となって南からの湿った空気が流れ込みにくいいため、東・西日本を中心に低気圧や前線の影響を受けにくく、移動性高気圧に覆われやすいでしょう。



今月の天候経過（実況） 9/1～20

期間を通して、数日の周期で天気が変わりましたが、寒気が流れ込んで気温が低い時期がありました。また、期間の終わりには台風第18号の影響で、沿岸部では大雨になった所がありました。この期間、気温と降水量は平年を下回り、日照時間は平年を上回りました。



参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 10月	平均気温 11月	平均気温 12月
関東甲信地方	平年差：-0.1～+0.4℃	平年差：-0.6～+0.6℃	平年差：-0.2～+0.4℃	平年差：0.0～+0.5℃
東京	12.3～12.7℃	16.9～18.0℃	11.9～12.5℃	7.4～8.1℃

	降水量 3か月	降水量 10月	降水量 11月	降水量 12月
関東甲信地方	平年比：70～109%	平年比：69～111%	平年比：63～108%	平年比：63～119%
東京	223.1～404.2mm	132.8～199.2mm	52.1～107.2mm	26.1～65.2mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981-2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11～20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	10月		11月		12月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
東京	14.8日	9.8日	17.4日	6.8日	22.5日	4.2日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20：40：40)	高い（多い）見込み 平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40：30：30) (30：40：30) (30：30：40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40：40：20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み